



なが ほし ちきゅう なが  
**流れ星は、地球のどこに流れているの**

うちゅう のちりなどがくうきとぶつかってなが  
**宇宙のちりなどが空気とぶつかって流れる**

は ひ くら よぞら をながめていると、なが ほし をときどきみ かけます。くうき がすんでいる、  
 うみ やま そら では、もっと多くのなが ほし を見ることができます。

なが ほし は、うちゅう をただよっている、うちゅう のちりなどが、もとになっています。

このようなものが、ちきゅう のまわりにある、たいき なか はい に入ってくると、くうき とこすれあって  
 おんど たか になり、ひかり だ を出します。これがなが ほし です。

なが ほし がなが ほし は、うちゅう のちりなどが、くうき とぶつかっている 間、あいだ ひかり だ を出しながなが  
 れているからです。

せい なが ほし  
**すい星からまきちらされた流れ星**

うちゅう のちりは、せい せい のようなせい せい から、まきちらされています。

せい せい のき道(うご いていく き まった みち すじ)を、ちきゅう がよこぎ 横切ると、たくさんのちりがちきゅう  
 にしょうとつし、りゅうせいぐん がみ 見られます。(監修・国司 真)

